

ミュージアムリソース研究所 2年目の活動実績報告書 (R5.5.1～R6.4.30)

今年度のキャンパスミュージアムは、学内だけでなく学外からの来館者を多く迎え入れることができた。6月に文部科学省高等教育局長を迎えたのを筆頭に、海外（タンザニア、香港、サウジアラビア、韓国等）からの来賓も迎えることができた。また県内の公立・私立学校からの見学者受け入れも順調に増加し、地域と結びついたコミュニティーの拠点としての役割を発揮するようになった。秋の大学祭「キャンパスフェスタ in 静岡」においては、2日間で1,384名の来館者があった。さらに学外においても積極的に出展し、本学の広報としての役割を果たした。

入館者数は開館以来順調に増え、次年度（令和6年度）初頭には令和3年のリニューアルオープン以来、10,000人を突破する見込みである。

キャンパスミュージアムならびにミュージアムリソース研究所の活動成果は、随時キャンパスミュージアムのホームページ (<https://www.shizuoka.ac.jp/campusmuseum/>) にて公開されている。

【キャンパスミュージアムのHPに見られる主な活動報告】

- ・<R5・6>文部科学省高等教育局長らの来館があった。これについては「文教ニュース」にも写真入りで掲載された。
- ・<R5・6>静岡県立清水南中等部の生徒さん108名の見学者を迎え入れた。
- ・<R5・11>大学祭「キャンパスフェスタ in 静岡」において、2日間で1,384名の来館者を迎えた。
- ・<R5・11>東アジア文化都市2023 静岡県記念「2023 ヒガナンフェスティバル」に出展し、来場者に本学を広報した。



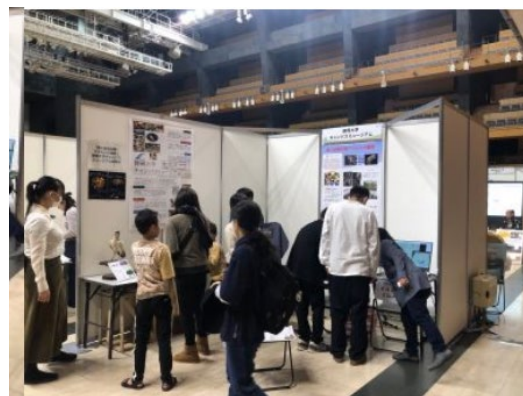
チャールズ・ダーウィン著「種の起源」の説明を受ける文部科学省高等教育局長（左：2023年6月22日）



清水南高等学校中等部の生徒たちによる見学（2023年6月21日）



第52回静大祭（キャンパスフェスタ）期間中（2023年11月4日）に訪れた来館者



東アジア文化都市2023 静岡県記念「2023 ヒガナンフェスティバル」出典の様子。